



楽しみながらラグビーに親しむ園児たち＝福井市湊4丁目で

広がるラグビーの輪 W杯活躍

撮
レ
ン
ド

ワールドカップ（W杯）での日本代表の活躍で注目を集めるラグビー。競技の精神や楽しさ、奥深さを知ってもらいたいと県内関係者のラガー魂にも火が付き、裾野を広げていく動きが出ている。

嶺北を中心に活動するクラブチーム「福井SRBスーパーラグビーブライース」は九月下旬から週一回、福井市湊四丁目の社中央保育園でラグビー教室を開催。年長組の園児約三十人に、遊び感覚で基本のパスなどを教えている。

園児たちは初めて触れるラグビーボールに悪戦苦闘しながらも笑顔いっぱい。チームの代表兼監督の大嶋茂男さん（三宅）は、ラグビーの尊重（フェアプレー）、感謝（フーサイド）、貢献（自己犠牲）の精神を知り、子どもや保護者、地域の人も一緒に成長してもらえればと考える。

クラブのメンバーは二十五人ほどで、随時募集中。一人でも多くラグビーに親しんでほしいと願いを込める。

（写真・文 河野光吉）

